

MGU Chapel Letter

—第16号 2022年9月30日— 発行：大学宗教センター

* 2022年度聖句 *

「主の慈しみは決して絶えない。

主の憐みは決して尽きない。」

哀歌 3章 22節



❖ 大学礼拝 10月のスケジュール！

【週3回、昼休みの12時10分～30分に礼拝堂で】

10月の礼拝日程（説教者の氏名）

- ・10月3日（月） 佐々木哲夫 （学院長・宗教総主事）
- ・10月5日（水） 清水 禎文 （教育学部教授）
- ・10月7日（金） 海野 道郎 （理事長）
- ・10月12日（水） 栗原 健 （宗教センター長）
- ・10月19日（水） 長尾 厚志 （仙台ホサナ教会牧師）
- ・10月21日（金） 松本 周 （一般教育部准教授）
- ・10月24日（月） 新田 恭平 （猪苗代教会牧師）
- ・10月28日（金） 海野 道郎 （理事長）

※敬称略

～ 10月10日（スポーツの日）・14日（大学祭準備日）・17日（大学祭片づけ日）・26日（土曜振替授業）の礼拝はありません。～

* 聖書・讃美歌をお持ちください。

* 金曜日は音楽科学生がオルガン奏楽の奉仕をいたします。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL：022-279-9558

Email：christ-c@mgu.ac.jp

キリスト教センター所属サークル：
大学祭でのイベント（10月15日土曜）

❖ 大学YWCA主催・第3回ひつじと自主講座
（10時30分～11時30分、礼拝堂）

YWCAの「ひつじと自主講座」では、大学の先生をお招きして学生が自主的に学ぶ時間を持っております。今回は本学学長の末光眞希先生をお招きして、「音楽とリベラルアーツ—VUCA/AI時代を生き抜く—」と題してお話して頂きます。先生の歌とパイプオルガンの演奏も聴くことができます。

❖ 大学聖歌隊・第4回定期演奏会（14時開演、礼拝堂）



聖歌隊の定期演奏会「歌で紡ぐ平和への祈り」が礼拝堂で開催されます。今回は、フォーレの「小ミサ」など各国の讃美歌・宗教曲を取り上げる予定です。第3部では「平和への祈り」として、「Far Away」「今、咲き誇る花たちよ」「HEIWAへの鐘」など、J-POPの作品も歌います。ウクライナで戦争が続いている中、美しい音色を聞きながら平和への願いを新たにしたいと思います。

たにしたいと思います。

❖ **讃美歌紹介： 讃美歌 21:287 番 ナザレの村里**

（上の聖歌隊の演奏会でも歌われる予定です）

「ナザレの村里、花咲く牧場（まきば）に 遊びたわむれた 昔を偲んで、幼い主イエスの み姿を想う・・・」との言葉で始まるこの歌は、6節にわたりイエスの生涯のシーンを描いています。1つ1つの場面でイエスの言葉の深さや恵みを思い起こす、瞑想的な歌詞です。どこかなつかしいメロディは、18世紀の作曲家D・ポルトニャンスキー（1752年～1825年）のもの。彼は主にロシアのペテルブルクで活躍していますが、出身地はウクライナのフルーヒウであり、町には彼の彫像も立っています。ロシアによる侵攻のためフルーヒウも被害を受け、住民に死傷者が出ているとのこと。2つの国をつなぐこの歌を聴く時 / 歌う時には、「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる」（マタイによる福音書 5章 9節）とのイエスの言葉も思い出し、平和のために自分に何ができるか考えましょう。 （栗原）